

当社におけるアスベスト対策の状況について

平成 18 年 11 月 22 日

帝国石油株式会社

帝国石油株式会社（社長：相岡雅俊）は、昨年公表（平成 17 年 9 月 22 日）いたしましたアスベストの使用状況について、引続き、健康被害調査、建物調査を実施いたしました。その調査結果と対策及び今後の対応につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. アスベスト健康被害調査及び調査結果

(1) 従業員

i. 健康被害調査実施状況

従業員については、家族を含む希望者全員に健康診断を実施しており、受診希望 225 名（家族 2 名を含む）全員の受診が終了しております。

ii. 調査結果

健康診断受診者については、アスベストに起因する健康被害は確認されておられません。また、これまでの調査では、昭和 62 年に 1 名の方が胸膜中皮腫により亡くなっていることが判明しており、今般、「石綿による健康被害の救済に関する法律」に基づき、特別遺族年金の支給が決定しました。亡くなられた方は、掘削機器の整備業務に従事していました。

(2) 退職者

i. 健康被害調査実施状況

退職者約 2,800 名に対してアスベストの使用状況及び健康診断実施の案内を行い、これまでに 81 名が受診済みとなっております。

ii. 調査結果

健康診断受診者については、アスベストに起因する健康被害は確認されておられません。また、退職された後、平成 6 年に亡くなられた 1 名の方が石綿肺の疑いのある肺がんによる死亡が確認されており、現在、「石綿による健康被害の救済に関する法律」に基づき、認定申請が行われております。

(3) 今後の方針

今後も従業員、退職者に対してアスベスト健康診断の受診を推奨する呼びかけを行ってまいります。

2. 建築物調査及び対策

社内における一次調査に基づき、72 物件を対象に専門業者による詳細調査及び建材の分析調査等を行いました。

調査で吹付け材を使用していることが確認された 3 物件についてはすでに除去作業が完了しております。

また、保温材・断熱材を使用している 9 物件については現況から飛散の恐れが無いと判断されましたが、今後とも定期的に点検を行い、劣化の状況等に変化が認められた場合には必要な措置を行うことといたします。

以上